

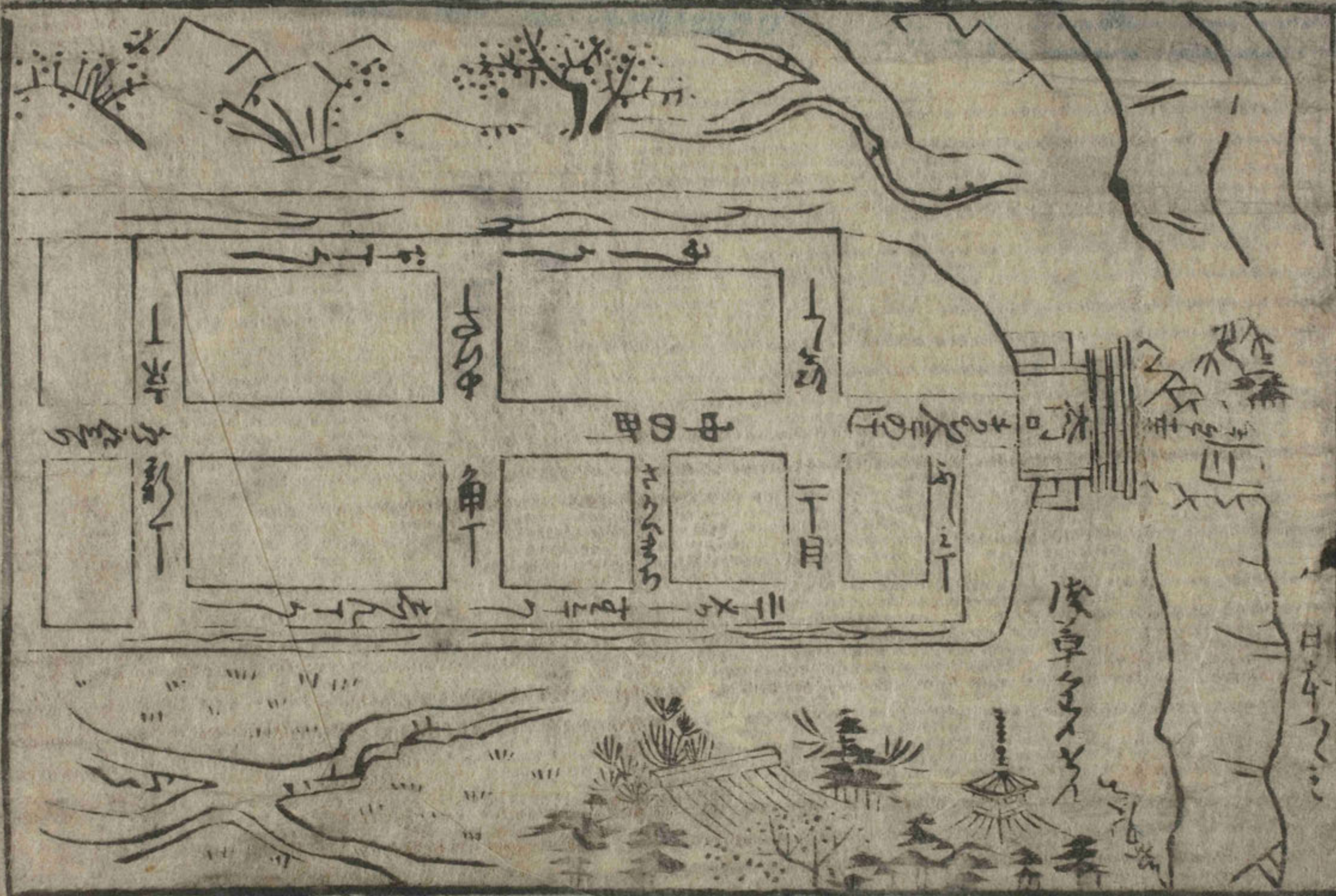


新古今和歌集繪圖

後醍醐天皇

日本書紀

後醍醐天皇



新古今和歌集

毎月改

江戸所蔵 丁酉中の丁酉 右



△ひやまをたふ

うゝ川より

うゝ川より

つまき

あめん

△あめ
△ひと
△あめ

△ちやまをたふ

松葉屋

△せうし

△あめ

△せ川

△あめ

△の

△あめ

△あめ

△あめ

△あめ



新三 万とや城東

市へ 今

竹の

新三 万とや城東

新三 万とや城東

ねり

新三 万とや城東

さよ

く

新三 万とや城東

くのか

をす

新三 万とや城東



新三 万とや城東

あう

う

新三 万とや城東

う

う

新三 万とや城東

う

う

新三 万とや城東

う

う

新三 万とや城東

う

う



新三 万とや城東

う

新三 万とや城東

う

新三 万とや城東

う



新三 万とや城東

う

新三 万とや城東

う

新三 万とや城東

う

かこ

かじらるゝやかんふふ



山口市南町

白

山口市南町

りり

八

た

ハ

西国又金



山口市南町

ハ

山口市南町

ハ

山口市南町

ハ

山口市南町

ハ

山口市南町

ハ

山口市南町

ハ

山口市南町

ハ

山口市南町

山口市南町

山口市南町

山口市南町

山口市南町



井

なまや山之島

△ころもろ	△ころもろ	△ころもろ	△ころもろ
△ころもろ	△ころもろ	△ころもろ	△ころもろ
△ころもろ	△ころもろ	△ころもろ	△ころもろ
△ころもろ	△ころもろ	△ころもろ	△ころもろ

天津屋

△ころもろ	△ころもろ	△ころもろ	△ころもろ
△ころもろ	△ころもろ	△ころもろ	△ころもろ
△ころもろ	△ころもろ	△ころもろ	△ころもろ
△ころもろ	△ころもろ	△ころもろ	△ころもろ



△ころもろ	△ころもろ	△ころもろ	△ころもろ
△ころもろ	△ころもろ	△ころもろ	△ころもろ
△ころもろ	△ころもろ	△ころもろ	△ころもろ
△ころもろ	△ころもろ	△ころもろ	△ころもろ



△ころもろ	△ころもろ	△ころもろ	△ころもろ
△ころもろ	△ころもろ	△ころもろ	△ころもろ
△ころもろ	△ころもろ	△ころもろ	△ころもろ
△ころもろ	△ころもろ	△ころもろ	△ころもろ

天満屋

新 天保やになつ

あつちよ

へまんよ へあひま への へあひま へあひま へあひま

せんめ

へあひま へあひま へあひま へあひま へあひま へあひま へあひま へあひま



新

巴や源ちあつ

神

そふう

へあひま へあひま へあひま へあひま へあひま へあひま へあひま へあひま

依

なむ

へあひま へあひま へあひま へあひま へあひま へあひま へあひま へあひま



新

極意をたもつ

へあひま へあひま へあひま へあひま へあひま へあひま へあひま へあひま

小

やもせ

商人たろやあま

知全英平

杉本町市立

又星

今

三才圖會

今更



東の天馬

あやめ

二
人

二

五ノ五
研列

卷之五

三

今やま

22

卷之九

今更に
あつた
あつた
あつた

おのへ

三

りこ
ろん

之

美之

最上 徳久
子 久美

あゝだあ



乙卯年

張

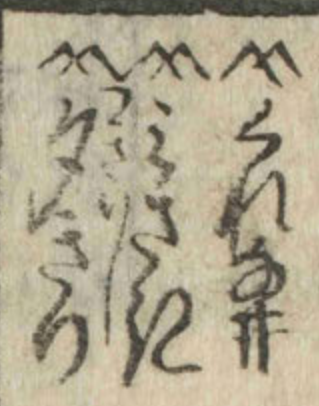
1870

ちねう

江戸町二丁目 中の上り 右より



新② 小まつり
 へあふ
 ちの山
 けしき
 けしき
 けしき
 けしき
 けしき
 けしき
 けしき
 けしき



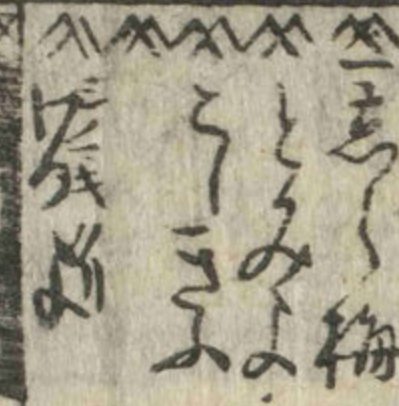
おさく
 ちの山
 けしき
 けしき
 けしき
 けしき
 けしき
 けしき
 けしき
 けしき



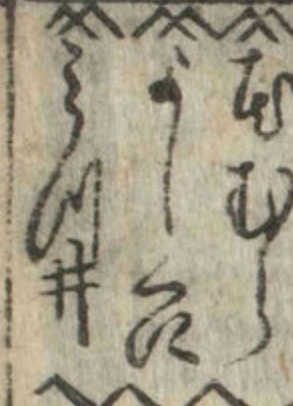
② けしき
 けしき
 けしき
 けしき
 けしき
 けしき
 けしき
 けしき
 けしき
 けしき



新③ けしき
 けしき
 けしき
 けしき
 けしき
 けしき
 けしき
 けしき
 けしき
 けしき



③ けしき
 けしき
 けしき
 けしき
 けしき
 けしき
 けしき
 けしき
 けしき
 けしき



平野屋

③ 平野やま

あめの井

あめの井

あめの井

あめの井

あめの井



③ ちちやま

あめの井

あめの井

あめの井

あめの井

あめの井

あめの井



③ ちちやま

あめの井

あめの井

あめの井

あめの井

あめの井

あめの店



卷三

市の
知案

ひのやほふ

へちやうへちやう

あらと

ありあへん

五
張
一
二

商人 万や旨ちち



卷之四

△古今文苑

天
 地

卷之四

卷之四

句

さう

卷之四

三

卷之五

之

字

人々々々々

京

周張屋

入子と入川

今也

小石

今世
木の



分新②大松也市島氣

少

今古

[illegible]

木林屋

③ ▲ 東川や久松

自
竹
子
子
子
子

亭松

一 是 三 更
 二 是 三 更
 三 是 三 更
 四 是 三 更

名町二月中の丁より

九

高人多り田や清水



② 日月也市古也

余乃个
今之川
ちり山

とてふ
るる事
さきん

ハキミ
もろく
小い糸



新三ノミヤ

へりすそ
ひん
まろおろ
へゆあざ
わあぞ
せん



くく山
ろくのへ
かのー

③ 今案
ろく山



ろく山
ろくのへ
かのー

③ 今案
ろく山



ろく山
ろくのへ
かのー

③ 今案
ろく山



ろく山
ろくのへ
かのー

③ 今案
ろく山

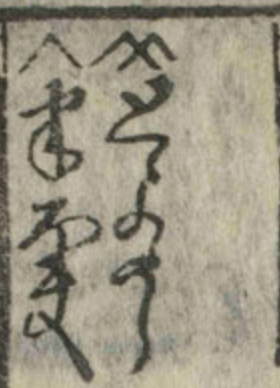
商人
ろく山

今之世
 ちと
 今

ちよ里
多ひや
七

新ひき

(三) 一、あゝや、あゝや
うら村　　うらあ　　うらあ　　うらあ
むいせ　　うらあ　　うらあ　　うらあ
あゝや　　うらあ　　うらあ　　うらあ
ハを値　　うらあ　　うらあ　　うらあ

[illegible]

② 救國也 金老

六十八
 六十九
 七十
 七十一
 七十二
 七十三
 七十四
 七十五
 七十六
 七十七
 七十八
 七十九
 八十
 八十一
 八十二
 八十三
 八十四
 八十五
 八十六
 八十七
 八十八
 八十九
 九十
 九十一
 九十二
 九十三
 九十四
 九十五
 九十六
 九十七
 九十八
 九十九
 一百



川井

松川

車相や陳はあ
やうぢ
おとさん
まき
せん
おの
そち
む
の
おの

[illegible]

松一史

さるやあらう
わきう
さる
へあけ山
いん
あし
へ初め
合
あ
あ



山崎 一 松 ち ち ち

八二二五
万二千
三千

さうや後家
さうや
さんご
と
め
の井

まするや格なりともや十とく いせり門今
商人必入すともや乃てク くらぬ長と氣



つ井

山
たけ
あま
つみ
か
りん
ふ
く

清和商店

[illegible]



五言古詩

[illegible]

のろ村

新三
うさやうま
へり川
あつちま
ふらふら
いふふ
ふらふら
ふらふら
ふらふら
ふらふら
ふらふら



花月

第③
 ちやうど
 川
 えん
 山
 ちやうど
 えん
 山
 ちやうど
 えん
 山



万々々々
音千丁
そのまじ
勝るなり

[illegible]



今更

合
三
風

少子村

いぬ川

今抄
乙抄
人抄
志

大
大
大

花世

八五五

山の井
下りの井

八五八

崇禎
己未
年
山

井の井

金史

心

山

卷之四

角所

中の丁より

有るに



新三 山口やゆきま

ちげう

法華

卷之六

へすうや

卷之五

楊

金部

志の
 心

三

芝蘭

松

高麗

卷之五

井

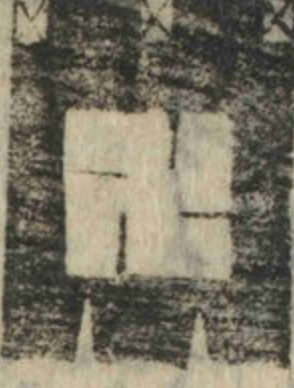
全おのふ
てふふ

井ノ

七



まきく
あきま
松し飯



あきま
まきく
あきま
まきく



あきま
まきく
あきま
まきく



あきま
まきく
あきま
まきく

新三 大なりや後者おも

あきま
まきく
あきま
まきく

新三 竹よえちやあきま

あきま
まきく
あきま
まきく

三 かやナんま

あきま
まきく
あきま
まきく

あきま
まきく
あきま
まきく

新三 大なりや後者おも

あきま
まきく
あきま
まきく

あきま
まきく
あきま
まきく



山の井

山

山口やまぐち
八川

孝家

うすく
うすく
うすく



中々今

八新②▲大和や傳方房
 八あつ里
 八てうさん
 八とやま
 ころろ山
 ころろ山
 やちん
 せんご
 りく
 けり山



② 二巴や市古考

被心

やま

[illegible]

全三
▲ひやきあ

[illegible]



△新③▲望の如にあらう

[illegible][illegible]

中事也 仁義 八全 仁義 相井傳太郎



八新日一名びりり

[illegible]

大解

② 大つやきたる

念松
山

とうふ村
 とこやま
 とうふ村
 とこやま

京町老百
中のうり
右のし

[illegible][illegible]

八十八

③ いせや



一初之
之本

八初二 木丸の世やうき
ゆしよ 初り
まきき ありき
まきき ありき
まきき ありき
まきき ありき
まきき ありき
まきき ありき



此
 碑
 係
 明
 代
 所
 立
 其
 文
 曰
 此
 碑
 係
 明
 代
 所
 立
 其
 文
 曰
 此
 碑
 係
 明
 代
 所
 立
 其
 文
 曰

わさくら
うきよの
もろこし
うきよの
うきよの



新三 山口 大 山

山

山

山

山

山

山

山



山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山



山

山

山

山

山

山

山

山



くらぐ

② ▲ ままや 理あつ
 くらぐ くらぐ くらぐ くらぐ
 くらぐ くらぐ くらぐ くらぐ
 くらぐ くらぐ くらぐ くらぐ
 くらぐ くらぐ くらぐ くらぐ



くらぐ

② ▲ ままや 理あつ
 くらぐ くらぐ くらぐ くらぐ
 くらぐ くらぐ くらぐ くらぐ
 くらぐ くらぐ くらぐ くらぐ
 くらぐ くらぐ くらぐ くらぐ

高 中 京

中 の テ ー ー 左



くらぐ くらぐ くらぐ

② ▲ ままや 理あつ
 くらぐ くらぐ くらぐ くらぐ
 くらぐ くらぐ くらぐ くらぐ
 くらぐ くらぐ くらぐ くらぐ
 くらぐ くらぐ くらぐ くらぐ



② ▲ ままや 理あつ
 くらぐ くらぐ くらぐ くらぐ
 くらぐ くらぐ くらぐ くらぐ
 くらぐ くらぐ くらぐ くらぐ
 くらぐ くらぐ くらぐ くらぐ

くらぐ くらぐ くらぐ

② ▲ ままや 理あつ
 くらぐ くらぐ くらぐ くらぐ
 くらぐ くらぐ くらぐ くらぐ
 くらぐ くらぐ くらぐ くらぐ
 くらぐ くらぐ くらぐ くらぐ

くらぐ くらぐ くらぐ

② ▲ ままや 理あつ
 くらぐ くらぐ くらぐ くらぐ
 くらぐ くらぐ くらぐ くらぐ
 くらぐ くらぐ くらぐ くらぐ
 くらぐ くらぐ くらぐ くらぐ

長増屋

まろく
いりね

やま
さう
おの
あ

ち
あ
ま
あ

さ
わ
り
ち



兼
より
の

神
の
う
は
り
松

さ
ろ
ま
さ
き

や
ま
あ
き
き

長屋

後
の
人

あ
わ
け
き

ひ
り
せ

こ
ろ
ま

なや

い
せ
の

せ
う
の
い
ち

あ
の
の
の

あ
の
の
の

祝屋

あ
の
の
の

あ
の
の
の

あ
の
の
の

あ
の
の
の

長増屋

長屋

なや

祝屋

翁
三
晚
古
九

初村

和村
あきつ
あきつ
あきつ

② 山口屋次七

[illegible][illegible]

ねりやき系に おけりてふこまやき七つにや
 うぐのやかりいさめんさようこゝろやうが山奥の
 か国や伊美し田やうきこゝろあやこす

初之
吉之

●大坂やちやう

京町一丁目

新下
中下
右

八新日 ▲ 友友のゆふん

卷之五

者
 こゝろを
 うめ
 せう
 なほ
 ま
 ゆ
 む
 ら
 けり
 ん
 ぶ
 かり

あうう

ちの
ちの
うま
い
あ
ぶ

三

三山

[illegible]

かきくけ

新三
大ひめ
之
あら



あつて
そのまゝ

[illegible]

丸

山花紅似火

[illegible]

[illegible]

事人
世之有
世之有
世之有

[illegible][illegible]


川井
山

本村元正 出候者之 人々なる
 諸君 多之、是、其、中、
 凡そ其、之、出、候、者、也、
 其、中、の、人、々、
 其、中、の、人、々、

③ ▲ いぢわぬらなう

262

竹書

おのち

五言古詩

商人

にやうきとくもあひまゐるうらなひ

廿二史劄記

丹
乃
中
い
あ
り
別
宝
島
丸

久々登

望石樓下

京町二丁目

中より

老

二、ゆゑに、あつた
きふ金酒を上の平七

山城屋



山と力や丸と丸

齊

也

齊

天

卷之四

大和

白

の

少月

卷八

10

18

新三

孝義の心

八五九

へ
あ
の

ていり

二

٥٢

三十三

三

少

る外

三

長

うのう
ちのう
てうえん

加賀屋

うのう
ちのう
てうえん

疾

うのう
ちのう
てうえん

真

うのう
ちのう
てうえん

新③ 長 修 平 九 事

うのう 山 の い ち の ひ め

うのう 山 の い ち の ひ め

新 加 賀 屋

うのう 山 の い ち の ひ め

うのう 山 の い ち の ひ め

新③ 疾

うのう 山 の い ち の ひ め

真

うのう 山 の い ち の ひ め

うのう 山 の い ち の ひ め



八廿三 一かあわ作ちあ

へはるるの ちうね いのせ

へちの ちうね いのせ

へちの ちうね いのせ

へちの ちうね いのせ

へちの ちうね いのせ

へちの ちうね いのせ

へちの ちうね いのせ

へちの ちうね いのせ

へちの ちうね いのせ

へちの ちうね いのせ

へちの ちうね いのせ

へちの ちうね いのせ

へちの ちうね いのせ

へちの ちうね いのせ

へちの ちうね いのせ

へちの ちうね いのせ

へちの ちうね いのせ

へちの ちうね いのせ

へちの ちうね いのせ

へちの ちうね いのせ

へちの ちうね いのせ

へちの ちうね いのせ

へちの ちうね いのせ

本下り

●まゝまゝ

やちき 大なり

あけきり しま

●ひのや七

●ひのや七

●ひのや七

●ひのや七

●ひのや七

●ひのや七

●ひのや七

●ひのや七

●ひのや七

●ひのや七

●ひのや七

●ひのや七

●ひのや七

●ひのや七

●ひのや七

●ひのや七

●ひのや七

●ひのや七

●ひのや七

●ひのや七

●ひのや七

●ひのや七

●ひのや七

●ひのや七

●ひのや七

●ひのや七

●ひのや七

●ひのや七

●ひのや七

●ひのや七

●ひのや七

●ひのや七

●ひのや七

●ひのや七

●ひのや七

●ひのや七

●ひのや七

●ひのや七

●ひのや七

●ひのや七

●ひのや七

●ひのや七

●ひのや七

●ひのや七

●ひのや七

●ひのや七

●ひのや七

●ひのや七

●ひのや七

●ひのや七

●ひのや七

●ひのや七

●ひのや七

●ひのや七

●ひのや七

●ひのや七

●ひのや七

●ひのや七

●ひのや七

●いざや吉なり
少くもいざの市
おのせきいざえ
永町り

●井くつふく
合さよのりふ
うのさいふ

●さのむや
つふかう
さの井

●さくや
りくさの

●さるや
へる
へる川
りへハ

●さるや
おさるや

●井く
へる井

●さるや
さるや

●さるや
さるや

●さるや
さるや

●さるや
さるや

揚所中町 右 揚所中町

■おさるや

■いつるや

■おさるや

■いざや

■おさるや

■たさるや

■さるや

■さるや

■さるや

■さるや

■さるや

■さるや

■さるや

■さるや

■さるや

■さるや

■さるや

■さるや

■さるや

■さるや

■さるや

■さるや

■さるや

■さるや

■さるや

■さるや

■さるや

■さるや

■さるや

● ぼろ目や様ま
かきう いもせ
清く おむ

● 山や山より
松井 けきり

● 山川やきり
よのあ きりきり
せきの
きりきり

● 山川やきり
きりきり きりきり
きりきり

● 山川やきり
きりきり きりきり
きりきり

● 山川やきり
きりきり きりきり
きりきり

● 山川やきり
きりきり きりきり
きりきり

● 山川やきり
きりきり きりきり
きりきり

ハミイリ ぼろ
きりきり きりきり
きりきり

● 山川やきり
きりきり きりきり
きりきり

● 山川やきり
きりきり きりきり
きりきり

● 山川やきり
きりきり きりきり
きりきり

● 山川やきり
きりきり きりきり
きりきり

● 山川やきり
きりきり きりきり
きりきり

● 山川やきり
きりきり きりきり
きりきり

● 山川やきり
きりきり きりきり
きりきり

● 山川やきり
きりきり きりきり
きりきり

きりきり きりきり
きりきり

● 山川やきり
きりきり きりきり
きりきり

● 山川やきり
きりきり きりきり
きりきり

● 山川やきり
きりきり きりきり
きりきり

● 山川やきり
きりきり きりきり
きりきり

● 山川やきり
きりきり きりきり
きりきり

● 山川やきり
きりきり きりきり
きりきり

● 山川やきり
きりきり きりきり
きりきり

● 山川やきり
きりきり きりきり
きりきり

むそくをいふ
はるるの煙霧
小橋をくぐり
目につく新八
くわくくくく
や田んぼの
花をいふ
くわくくく
富田をくぐり
故郷をいふ
くわくくく
大なる村を
今更にいふ
山をいふ
かきくく
くわくく
くわくく
くわくく
くわくく
くわくく
くわくく
くわくく

Handwritten text in a cursive script, likely a list or account, with several lines of text and some markings.

三教之原

[Handwritten notes in cursive script, likely bleed-through from the reverse side of the page.]

一廿七
 一廿八
 一廿九
 一三十
 一三十一
 一三十二
 一三十三
 一三十四
 一三十五
 一三十六
 一三十七
 一三十八
 一三十九
 一四十
 一四十一
 一四十二
 一四十三
 一四十四
 一四十五
 一四十六
 一四十七
 一四十八
 一四十九
 一五十
 一五十一
 一五十二
 一五十三
 一五十四
 一五十五
 一五十六
 一五十七
 一五十八
 一五十九
 一六十
 一六十一
 一六十二
 一六十三
 一六十四
 一六十五
 一六十六
 一六十七
 一六十八
 一六十九
 一七十
 一七十一
 一七十二
 一七十三
 一七十四
 一七十五
 一七十六
 一七十七
 一七十八
 一七十九
 一八十
 一八十一
 一八十二
 一八十三
 一八十四
 一八十五
 一八十六
 一八十七
 一八十八
 一八十九
 一九十
 一九十一
 一九十二
 一九十三
 一九十四
 一九十五
 一九十六
 一九十七
 一九十八
 一九十九
 二
 二一
 二二
 二三
 二四
 二五
 二六
 二七
 二八
 二九
 三十
 三十一
 三十二
 三十三
 三十四
 三十五
 三十六
 三十七
 三十八
 三十九
 四十
 四十一
 四十二
 四十三
 四十四
 四十五
 四十六
 四十七
 四十八
 四十九
 五十
 五十一
 五十二
 五十三
 五十四
 五十五
 五十六
 五十七
 五十八
 五十九
 六十
 六十一
 六十二
 六十三
 六十四
 六十五
 六十六
 六十七
 六十八
 六十九
 七十
 七十一
 七十二
 七十三
 七十四
 七十五
 七十六
 七十七
 七十八
 七十九
 八十
 八十一
 八十二
 八十三
 八十四
 八十五
 八十六
 八十七
 八十八
 八十九
 九十
 九十一
 九十二
 九十三
 九十四
 九十五
 九十六
 九十七
 九十八
 九十九
 一百

■ 大々々々々々々々
 ■ 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
 ■ 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

商人

日長亭之永長

三
丁
の
あ
ま

二
三
四
五
六
七
八
九
十
十一
十二
十三
十四
十五
十六
十七
十八
十九
二十
二十一
二十二
二十三
二十四
二十五
二十六
二十七
二十八
二十九
三十
三十一
三十二
三十三
三十四
三十五
三十六
三十七
三十八
三十九
四十
四十一
四十二
四十三
四十四
四十五
四十六
四十七
四十八
四十九
五十
五十一
五十二
五十三
五十四
五十五
五十六
五十七
五十八
五十九
六十
六十一
六十二
六十三
六十四
六十五
六十六
六十七
六十八
六十九
七十
七十一
七十二
七十三
七十四
七十五
七十六
七十七
七十八
七十九
八十
八十一
八十二
八十三
八十四
八十五
八十六
八十七
八十八
八十九
九十
九十一
九十二
九十三
九十四
九十五
九十六
九十七
九十八
九十九
一百

五十七

井ノ口

蘇松之機

山

二ノ

一見之

五言古詩

三二八

■ 2の田やのやう

松尾土日土留十五日
十六日土亥自元日大八日

一曰八日十音十七
八日初午九八日

一
三
日
十
五
日
十
七
日
三
十
八
日

一十八日
十七日
十八日
十九日

一日 五日 六日 十五日
十七日 十八日

二月十五日十七日
十八日十九日

二日七夕十日 十三日休
十四五六七八日九八日

二月十四五六日
十七十八十九日

一日九日十二三四月
十五日十七八月十八月

日いの二十五日
十七日十九日十八日

日八日十五日
十七日十八日

日八月十三日
五月十七八日

合中

△大夫井格子 ▲散茶 一ひめ茶
●並膚 △二天秀 △八尺委へ初座 △
うきざりの一分 〇 煮一分 〇 煮一分
③ 一茶 ▲ 〇 煮一分 〇 煮一分
ハ貝人合て二茶

右彩衣衣細見法番又の本世より
わきこい出やんゆきまらこのつみねと
なるの府府のおまきまらこつみね
より今般をも知しふりり せうの
負教強枝巨細おめ味はこま
地の毎室めつくわくあ板は佐
けの毎月くおぬやいあま
はてさういあおまらりあま
よりあまらり

いふ

備書 電國三同

いふ

